

ICTニュース10月

院内感染対策委員会

当院では、2015年上半期のサーベイランス結果から、尿道留置カテーテルの挿入されている患者さんの感染率は、同じ医療内容、規模の病院に比べて比較的高い値となっています。感染委員会では、尿道留置にかかわる様々な管理を丁寧に見直していきたいと考えています。

当院は、閉鎖式バルーンキットが基本となっていますが、他病院からの連携で閉鎖式ではないBrを挿入されている患者さんが来院することがあります。

その際の、尿の採取方法についてです。本体であれば「サンプルポート」より尿を採取することになりますが、「サンプルポート」のない場合があります。

方法は以下の通りになります

★サンプルポートの付いていないBrカテーテルキットの採取方法★

1. 手指消毒を実施し、未滅菌手袋を装着する
2. クランプし、20～30分程ドレーン鉗子等でクランプしてからカテーテルとランニングチューブを外し、カテーテルチップで20mlほど採取する。
無菌的に滅菌尿コップにいれる
3. 接続部を酒精綿で清拭後、バックと接続する。



*ドレーン鉗子は正しく使用されていますでしょうか？ クランプの場所は？